建築研究所ニュース

令和７年１１月２８日

建築物の地震後継続使用性を分析
～ 令和６年能登半島地震による建築設備等の被害調査報告を公開します

2024年1月1日16時10分頃，石川県能登地方にてマグニチュード7.6，最大震度7の地震（震源：北緯37度29.7分，東経137度16.2分，深さ16km）が発生しました。国立研究開発法人建築研究所は，国土技術政策総合研究所，公益社団法人空気調和・衛生工学会，一般社団法人建築設備技術者協会，及び建築研究開発コンソーシアムと共同で，石川県及び富山県において建築物に設置されている設備機器を主たる対象として，その被害の概要及び，地震後の継続使用性の実態を把握するため，被害調査を実施しました。本報告書では，各建築物の被害事例や地震後の継続使用性の実態を報告します。また，調査を行った建築物を対象として，建築物の地震後の継続使用性に大きく影響した要因についての分析を行った結果を報告します。

（ダウンロード先URL）
https://www.nilim.go.jp/lab/bbg/saigai/R7/notosetsubityousa.pdf
https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/2025/R7_11_28_noto.pdf

【お問い合わせ先】
国立研究開発法人建築研究所　国際地震工学センター　渡邊秀和
電話　029-864-2151（内線 4734），（直通）029-864-6653
国土交通省国土技術政策総合研究所　建築研究部　楠田勝彦
電話　029-864-2211（内線 4326），（直通）029-864-4437

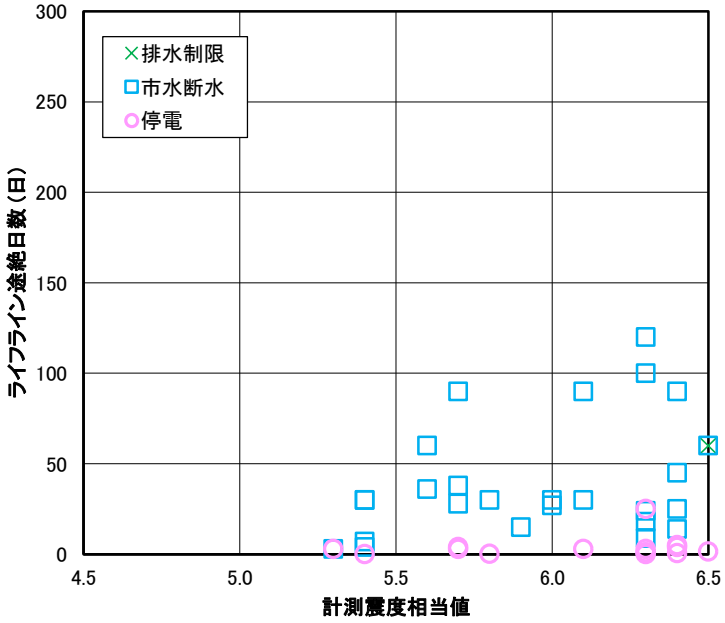

図5.1.3　計測震度相当値毎のライフライン途絶日数

目次

1.　はじめに…… 1
2.　調査概要…… 2
2.1 調査日…… 2
2.2　調査者…… 2
2.3　調査建築物…… 3
2.4　建築物の機能継続性…… 5
3.　地震概要…… 7
3.1　震度分布…… 7
3.2　観測地震記録…… 7
4.　調査結果…… 14
5.　調査結果の考察…… 157
5.1 ライフライン途絶及び建築設備機能停止と計測震度相当値の関係…… 157
5.2　地震後の継続使用性確保のための対応事例…… 160
5.3　地震後継続使用性の図示化…… 162
5.4　地震後継続使用性確保のための提言…… 166
6.　まとめ…… 167
謝辞…… 168